

植村会長ら再任する 石垣牛協 記念講演も聴講



石垣牛
流通協議
会(植村
光一郎会
長)は5
月22日、
2026
年度総会
を東京都
内で開催
した。総
会では25
年度事業
報告、26
年度事業
計画な
ど、上程
した。

「いきたい」と述べた。

来賓祝辞で林大臣は、農水大臣時代に植村会長と香港やベトナムで和牛のプロモーション活動などを通じて共に取り組んできたことなどを振り返った他、牛を巡る情勢については「繁殖、流通共に潤うことはあまりないが、ブランドの付加価値を高め、世界中に売り込むことで、回りまわって生産者の皆さんがしっかりと将来に向けて取り組むことにつながる」と述べた。

続いて石垣市の中山義隆市長、農林水産省食肉鶏卵課の伊藤大介課長、

農畜産業振興機構の天羽隆理理事長、沖縄県農業協同組合中央会の前田典男代表理事会長、沖縄県農業協同組合の安谷屋行正代表理事長がそれぞれの立場からあいさつを行った。

また、林大臣から石垣牛肥育部会に、中山市長から榑エムアイフードスタイルに対し、これまでの石垣牛の生産・販売貢献に敬意を表して盾が贈られた。

議案審議の最後には、植村会長が「石垣牛流通協議会 プランディング7箇条」を説明。7箇条では、①需要と供給のバランスと販売場所②古い商習慣の打破と環境整備③消費者が欲しい生産物を④継続した供給で味覚をつかむ⑤審判員は消費者⑥品質の向上こそブランド化の近道⑦消費者が全ての最前線にいる——としている。

議案審議終了後には、農水省食肉鶏卵課の藤谷洋平課長補佐が「牛肉輸出の現状とこれからの方向性」と題し、記念講演を行った。また、総会終了後には生産者・関係者交流会となり、参加者は懇親を深めた。